

## UAE を知っていますか

藤木完治会員

(STS フォーラム専務理事、元アラブ首長国連邦駐箚特命全權大使)

UAE は砂漠とラクダ、産油国であって、科学技術とはあまり関係がないと思われるかもしれない。人口は約 1,000 万人、うち約 9 割が外国人。本来の UAE 国民は 100 万人程度。中東は、テロの恐怖、独裁的な政府、腐敗など負のイメージが強い。しかし、UAE は、国際競争力、ビジネス環境、デジタル化、生活安全などは日本と同等のランキングにある。ビジネスや投資、インフラ、金融制度等が大変整備されている。この国はオイルマネーで生きている国と思われがちだが、実は物や人、お金や情報などの国際ハブ国家にする、という新しい国づくりに投資してきた。教育にも大変熱心。大学の教授陣の多くは未だ外国人だが、海外の有力大学を多数招致している。先端技術導入、人材育成、産業化への取組は大変進んでいる。例えば、宇宙開発。国産化の技術を高めて、2018 年に地球観測衛星の打上げに成功。昨年は火星探査機を打上げ、火星探査に成功した。100 年後にマースサイエンスシティーの設立も宣言した。また、原子力は、4 機の大型原子力発電所を建設、運転を開始した。さらに、世界で最も安価な太陽光発電による電気を供給して、石油や天然ガスへの依存度を低下させ、経済産業、エネルギー源の多様化を図っている。

中東は、潜在的、成長的可能性がとても大きい。人口は 4、5 億人程度、人口増加率は高く、若者の比率も高い。一人当たり GDP は ASEAN より 5 割増。今後、中間層が拡大して、市場規模も拡大するだろう。世界の物流の要衝でもある。欧米各国は中東の国々とは多くの負の側面はあるが、付き合える範囲はしっかり付き合っていこうという態度である。日本政府は二国間の経済関係強化を目指しているが、経済界にはビジネス上の不安定リスクを懸念する人が多い。イランは、周辺地域への勢力拡大に傾注している。一方、サウジアラビア、UAE は、イスラム革命を輸出されることに非常に警戒感がある。また、中東和平問題については、国際社会は、オスロ合意の二国化解決を目指しているが、トランプ政権の政策、イスラエルとの国交樹立によって、益々先が見えにくくなった。

UAE は君主制の国だが、価値観が我々と近い。寛容と共存の精神、開かれた市場経済、地球環境保護、未来志向の宇宙政策などに大変熱心。宗教指導者は政治の実践には関わらない世俗国家。アメリカとの関係を基軸に発展してきたが、最近では、中国の一帶一路政策の拠点となりつつある。中国との関係強化が目立つということには大きな注意を払う必要がある。

[了]